

ぶんけい

教育ほっとにゅーす

かわら版

こみち

No.156

2021 October
10月号

(一財)総合初等教育研究所参与

北俊夫先生

今月のことば

螢雪の功

灯火の代わりに螢の光や雪明かりをもとに勉強したという故事から、苦労して学問することをいいます。「螢雪」は苦学のたとえ、「功」は努力のことです。

子どもの「つまずき」を生かす

- 子どものつまずきは、その子どもの本音の一部が表出されたものです。教師にはつまずきを受け入れる度量の広さと、瞬時の対応力が求められます。
- つまずきを「もう一つの教材」として捉え、生かすことによって、つまずいた子どもだけでなく、他の子どもたちが自らの学びを確かにすることができます。

つまずきとは何か

教師は発問を投げかけたり、指示をしたりしながら授業を進行しています。発問に対して、教師が期待していないことを応答してくる子どもがいます。指示したとき、教師からみてどんな行動に出る子どももいます。

教師には一般に、子どもたちから意図していない反応が出されたとき、それを「つまずき」として受けとめる傾向があります。例えば、算数科で計算が正しくできないとき、国語科や社会科などで文章や資料の読み取り方を誤ったとき、さらに常識的に考えてズレているときなどです。

教師は授業中に「自分なりに考えてみましょう」とか「間違えてもいいんだよ」などと言っています。ところが、間違えたことを言ったとき、「他の人はどうですか」と他の子どもに意見をうながし、間違えた子どもを相手にしないことがあります。

つまずきは、教師の意図に沿っていない内容のものであり、教師の立場から判断したもので、教師にとって都合の悪い状況だとも言えます。ところが一方の子どもは、つまずいているとは思っていません。はじめから間違ったことを言おうとしている子どももい

ません。つまずきはその時点での子どもの本音であり本心です。主体的に学んでいる子どもほど、「自分」を出してきます。教師の期待に応えようとする子どももいます。

つまずきという言葉はネガティブな意味あいで使われたり捉えられたりする傾向がみられます。しかし、つまずいている状況を「もう一つの教材」として受けとめ、子どもの学びをより確かなものにするために積極的に生かすべきです。つまずきはよき教材です。

つまずきを生かすポイント

子どものつまずきは「病気」にかかった状態にたどえることができます。医師が病気を治すとき、まずどのような病気にかかっているのかを明らかにするように、教師は子どものつまずきを見つけ、つまずきの存在に気づくことが前提になります。つまずいていることに気づかなければ、つまずきを生かしたり、解決したりする行為は始まりません。まずは授業者が子どもの学習状況をつぶさに観察し、状況を把握することが重要です。教師には優れた観察力や洞察力が求められます。

次に、なぜつまずいているのか、原因や背景を推察します。当該の子どもに発言や行動の真意や理由を説明させ

今月の記念日 レモンの日（10月5日）

昭和13年（1938年）のこの日、高村光太郎の妻智恵子が亡くなる数時間前にレモンを噛んだことにちなんでいます。この様子は『智恵子抄』の「レモン哀歌」にうたわれています。

てもよいでしょう。「〇〇さんはどうしてこのように考えたのかな」と聞いかけ、子どもに答えさせることもできます。これがつまずきを生かす具体的な手だてです。このような行為は、お医者さんが患者さんに行っている、病気の原因を突き止めるための「問診」や「診断」にあたります。

つまずきの原因や理由が明らかになつたら、その場で解決策を考えます。「治療」の手を差し伸べ、つまずきを無くします。「〇〇さんの答えはどこに問題があるかな」「〇〇さんの考え方ややり方をもっとよくするために、どうしたらよいだろうか」などと子どもたちに投げかけ、子どもたちに解決策（治療方法）を考えさせます。こうした手だてがつまずきを「もう一つの教材」として生かす行為です。

つまずきを生かすことにより、つまずいた子どものつまずきが解決されます。これは病気から「快復」した状態です。こうした行為は、他の子どもたちにとって、学習内容を改めて確認する機会になります。

さらに、学級全体に支え合い、学び合う風土が醸成されるという重要な成果も期待できます。つまずきを生かすことで、子どもたちに確かな学力を身につけさせるとともに、学級に協働的に学ぶ雰囲気をつくり出します。

学級経営の基礎

子どもに学び、ともに成長する

教師の仕事は子どもたちを教育することです。一般には教える立場にいます。ところが、子どもに教えているつもりが、実は子どもから教えられていることがあります。

子どものなかには、教師が予測していなかったことを答えてきたり、期待していたことを遙かに超えた発想をしたりすることがあります。このようなとき、教師は「そのような見方もあるのか」と改めて気づかされます。

教師には、ふところの広さと多様な反応を受け入れる度量が求められます。また子どもは本来、多様で個性豊かな発想をするという子ども観に立脚していることが大切です。一つの発問に対して答えを一つだけ期待していると、そこからはみ出した子どもの個性豊かな反応を受けとめることができません。教える教師は子どもから学びながら、ともに成長しているという教師観が求められます。

教室に入ると、その学級の雰囲気や空気が伝わってきます。それは教師と子どもたちが醸し出しているもので、目には見えません。それは学級によって明らかに違います。学級の雰囲気や空気は、教師の一挙手一投足や子どもたちの振るまい、教室内の掲示物などからも感じ取ることができます。

学級経営の根底には、教師は子どもとともに成長するという教師観や指導観、子どもは本来、よりよく学びたいという欲求をもち、それぞれの子どもは精一杯生きているという子ども観が位置づいています。授業の基盤だといわれる学級経営には、これらのさまざまな「○○観」が据えられます。確かな「○○観」をもちたいものです。

教育の動向

「ESD」に関する実施計画

文部科学省と環境省は、令和3年5月31日に「我が国における『持続可能な開発のための教育（ESD）』に関する実施計画」を策定しました。総論と具体的な取組から構成されています。特に注目されるのは「ESDの意義とSDGs」についての記述です。

ESDとは、「人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、（中略）人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、問題の根本的な要因等にも目を向け身近なところから取り組むことで、それ

らの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動」であると改めて整理しています。

2019年の国連総会で、2030年までを対象に「持続可能な開発のための教育：SDGs実現に向けて」が承認されました。ここでは「ESDがSDGs（持続可能な開発目標）全てのゴールを達成するための鍵である」とESDの役割を強調しています。

学習指導要領が求めている資質・能力をバランスよく育成することはESDの推進に寄与するものです。未来を見据えて、持続可能な社会の創り手を育成する取り組みを重視し、学校教育の役割を果たしたいものです。

北俊夫の「実践と研究」の足あと 24

文部省への異動

東京都教育委員会から文部省（現文部科学省）に、教科調査官（小学校社会科担当）として異動したのは、平成4年（1992年）4月です。異動の話は半年ほど前からありましたから、心の準備はできていました。異動は、

「退職」ではなく、文部省からの「割愛」という事務処理でした。

異動したときは、平成元年に公示された学習指導要領が全面実施された年度でした。低学年の社会科と理科が廃止され、生活科が新教科として発足しました。社会科は3年からの教科になっていました。また、この頃、韓国とのあいだに、歴史教育に関連した教科書問題がありました。社会科においては順風満帆の状況とはいえず、むしろ逆風が吹いていました。

当面の課題は、学習指導要領の趣旨を伝えつつ、実践の充実を図ることでした。幸い、東京都教育委員会に在籍していたときに、学習指導要領の作成協力者として『指導書』（現在の『解説』に当たります）の執筆にも関わっていましたから、社会科の新しい内容や課題は把握していました。

それまでは東京都内であらゆる教育課題を対象に仕事をしていました。4月からは、全国を対象に小学校の社会科に特化して仕事をするようになりました。それまでの生活が大きく様変わりしました。教育委員会での職務で培われた、教育課程全体のなかで教科の課題を捉えるという視点が生かされ、学校（実践）と行政の目で課題解決に当たることができました。職場は変わりましたが、職務内容に困難さを感じることはありませんでした。

INFORMATION

冬休みからの総しあげ教材

1年間の学習を
1冊で
まとめて復習!



1・2年 380円
3~6年 400円

国語・算数を集中的に!
これでだいじょうぶ



1・2年 440円
3・4年 490円
5・6年 540円

5教科を徹底復習!
パーフェクト〇年



編集後記

「教育の小径」のすべてのバックナンバーを文溪堂のHPからお読みいただけます。ダウンロードして印刷も可能です。お知り合いの先生にもお勧めください。（F記）



ぶんけい 教育の小径 検索

企画・編集：ぶんけい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2021年10月1日